



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月5日

上場会社名 スズデン株式会社

上場取引所 東

コード番号 7480 URL <https://www.suzuden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 篤史

問合せ先責任者 (役職名) iクリエイト部長 (氏名) 安岳 宗吉

TEL 03-6910-6801

四半期報告書提出予定日 2019年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,229	19.2	268	33.7	343	29.6	224	31.7
2019年3月期第1四半期	12,665	8.5	404	40.1	487	34.7	328	39.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 233百万円 (23.5%) 2019年3月期第1四半期 305百万円 (30.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	16.16	
2019年3月期第1四半期	23.72	23.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	25,912	15,784	60.9	1,135.44
2019年3月期	28,266	17,093	60.5	1,229.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 15,784百万円 2019年3月期 17,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		110.00	120.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		18.00		52.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 特別配当70円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,300	13.0	480	44.4	620	37.4	350	46.7	25.20
通期	45,400	5.5	1,180	25.8	1,450	20.6	950	28.8	68.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	14,652,600 株	2019年3月期	14,652,600 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	750,859 株	2019年3月期	750,859 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	13,901,741 株	2019年3月期1Q	13,866,840 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
3. その他	10
仕入及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)における当社グループを取り巻く景況は、米中貿易摩擦の長期化や国内外景気の減速による影響等で輸出や生産活動に力強さはなく、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力販売先である電気機器・電子部品・産業機械業界では、人手不足対策や生産性向上を目的とした生産現場の省力化・自動化への投資意欲は高いものの、経済環境の不透明感が強まる中、設備投資へは慎重な姿勢が見られております。また半導体製造装置関連の主要顧客においては、データセンター向け投資やスマートフォン市場の減速など半導体需要の低迷による生産および設備投資の調整局面は続いており、その結果、売上高は全般的に低調に推移いたしました。

こうした環境のもと、当社グループは「ものづくりサポーターティングカンパニー」として、省力化・自動化をはじめとした生産現場の課題や要望に直結した提案営業を実行してロボットやI o T商材など成長分野への取り組み等を行うとともに経費の見直しを進めてまいりました。

以上の施策を実施することにより収益の確保に努めてまいりましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,229百万円(前年同四半期比19.2%減)、営業利益は268百万円(前年同四半期比33.7%減)、経常利益は343百万円(前年同四半期比29.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は224百万円(前年同四半期比31.7%減)と前年同四半期に比べ減収減益となりました。

また、当社グループの商品分野別の売上高につきましては、次のとおりであります。

①FA機器分野

ロボット、温度調節器等が増加しましたが、センサー、表示機器等が減少し、売上高は5,851百万円(前年同四半期比22.0%減)となりました。

②情報・通信機器分野

システムラック、ソフト等が増加しましたが、OA機器、ルーター等が減少し、売上高は969百万円(前年同四半期比12.7%減)となりました。

③電子・デバイス機器分野

基板、電池関連商品等が増加しましたが、コネクタ、基板用電源等が減少し、売上高は1,129百万円(前年同四半期比21.1%減)となりました。

④電設資材分野

BOX、通信設備等が増加しましたが、LED照明、ケーブルアクセサリ等が減少し、売上高は2,279百万円(前年同四半期比13.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,353百万円減少し、25,912百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,439百万円減少し、20,057百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の減少813百万円、受取手形及び売掛金の減少795百万円、有価証券の減少702百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて85百万円増加し、5,854百万円となりました。

これは主に、会計方針の変更によるリース資産の増加207百万円、繰延税金資産の減少90百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて1,044百万円減少し、10,127百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて934百万円減少し、7,718百万円となりました。

これは主に、電子記録債務の減少230百万円、短期借入金の減少362百万円、未払法人税等の減少264百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて109百万円減少し、2,409百万円となりました。

これは主に、会計方針の変更によるリース債務の増加193百万円、長期借入金の減少291百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて1,309百万円減少し、15,784百万円となりました。

これは主に、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上224百万円、配当金の支払1,542百万円によるものであります。なお、自己資本比率は60.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から1,514百万円減少し、3,656百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は704百万円の増加となりました。(前年同四半期における資金は120百万円の減少)

これは主に、税金等調整前四半期純利益343百万円、売上債権の減少1,006百万円の増加要因、仕入債務の減少247百万円、法人税等の支払額273百万円の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は18百万円の減少となりました。(前年同四半期における資金は29百万円の減少)

これは主に、有形固定資産の取得による支出14百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は2,203百万円の減少となりました。(前年同四半期における資金は19百万円の減少)

これは主に、長期借入金の返済による支出654百万円、配当金の支払額1,542百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期以降におきましては、米中貿易摩擦の長期化や消費税増税など内外経済への影響が懸念される状況であります。当社グループの主力販売先であります電気機器・電子部品・産業機械業界においては、人手不足対策や生産性向上を目的とした設備投資需要は引き続き継続するものの低調に推移すると見込んでおります。また半導体製造装置関連の主要顧客においては、半導体需要の低迷により設備投資が減速し調整局面にありますが、下期より生産活動は回復傾向に向かうと見込んでおります。

2020年3月期第2四半期累計期間ならびに通期の業績予想については、2019年5月10日に「2019年3月期決算短信[日本基準](連結)」で公表いたしました予想数値から修正はありません。

なお、上記に記載した業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により変動する場合があります。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,490,178	3,677,043
受取手形及び売掛金	10,693,667	9,897,729
電子記録債権	2,780,620	2,571,453
有価証券	2,106,955	1,404,023
商品	2,172,463	2,292,490
その他	256,342	217,555
貸倒引当金	△2,680	△2,479
流動資産合計	22,497,546	20,057,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,663,850	1,639,613
土地	1,909,493	1,909,493
その他(純額)	75,384	277,855
有形固定資産合計	3,648,728	3,826,962
無形固定資産	72,452	67,848
投資その他の資産		
その他	2,086,374	1,998,292
貸倒引当金	△38,787	△38,387
投資その他の資産合計	2,047,586	1,959,904
固定資産合計	5,768,767	5,854,715
資産合計	28,266,314	25,912,532
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,670,131	3,654,271
電子記録債務	2,589,554	2,358,674
短期借入金	1,113,966	751,194
未払法人税等	309,354	44,764
賞与引当金	238,981	118,220
役員賞与引当金	91,000	19,000
その他	640,097	771,972
流動負債合計	8,653,086	7,718,097
固定負債		
長期借入金	1,255,979	964,403
役員株式給付引当金	25,569	27,855
退職給付に係る負債	1,031,444	1,020,205
その他	206,479	397,429
固定負債合計	2,519,472	2,409,894
負債合計	11,172,559	10,127,992

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,819,230	1,819,230
資本剰余金	1,527,493	1,527,493
利益剰余金	14,345,604	13,027,361
自己株式	△648,286	△648,286
株主資本合計	17,044,041	15,725,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,738	49,099
為替換算調整勘定	11,638	16,137
退職給付に係る調整累計額	△8,664	△6,495
その他の包括利益累計額合計	49,713	58,742
純資産合計	17,093,755	15,784,540
負債純資産合計	28,266,314	25,912,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	12,665,509	10,229,248
売上原価	10,906,090	8,689,660
売上総利益	1,759,418	1,539,587
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	135,026	122,286
給料手当及び賞与	534,387	509,396
株式報酬費用	1,738	2,286
法定福利費	83,827	79,792
退職給付費用	34,470	41,124
賃借料	58,002	94,648
減価償却費	52,747	39,557
賞与引当金繰入額	164,984	118,220
役員賞与引当金繰入額	31,913	19,000
その他	257,861	245,190
販売費及び一般管理費合計	1,354,959	1,271,503
営業利益	404,459	268,083
営業外収益		
受取利息	294	4,082
為替差益	709	—
受取配当金	8,395	15,782
仕入割引	64,461	52,710
その他	20,269	12,394
営業外収益合計	94,130	84,969
営業外費用		
支払利息	2,699	4,006
手形売却損	2,914	2,481
売上割引	2,183	1,867
為替差損	—	1,298
減価償却費	3,383	—
その他	83	384
営業外費用合計	11,264	10,038
経常利益	487,325	343,014
特別利益		
投資有価証券売却益	4,414	—
特別利益合計	4,414	—
税金等調整前四半期純利益	491,740	343,014
法人税、住民税及び事業税	65,939	29,590
法人税等調整額	96,911	88,835
法人税等合計	162,851	118,425
四半期純利益	328,888	224,588
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	328,888	224,588

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	328,888	224,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,333	2,361
為替換算調整勘定	△7,060	4,499
退職給付に係る調整額	△3,192	2,168
その他の包括利益合計	△23,586	9,028
四半期包括利益	305,301	233,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305,301	233,617
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	491,740	343,014
減価償却費	56,131	39,557
賞与引当金の増減額(△は減少)	△135,943	△120,761
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△94,087	△72,000
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	1,738	2,286
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,868	△11,238
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△142	△600
受取利息及び受取配当金	△8,690	△19,864
支払利息	2,699	4,006
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,414	—
売上債権の増減額(△は増加)	349,205	1,006,022
たな卸資産の増減額(△は増加)	△372,682	△124,494
仕入債務の増減額(△は減少)	△119,659	△247,401
その他	169,397	164,686
小計	337,162	963,214
利息及び配当金の受取額	8,487	18,538
利息の支払額	△2,815	△3,893
法人税等の支払額	△463,213	△273,736
営業活動によるキャッシュ・フロー	△120,378	704,122
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33,795	△14,205
投資有価証券の取得による支出	△4,035	△4,022
投資有価証券の売却による収入	7,734	—
敷金及び保証金の差入による支出	△491	△861
敷金及び保証金の回収による収入	900	1,301
その他	—	△650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,686	△18,438
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△351,054	△654,348
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,349	△6,729
配当金の支払額	△671,485	△1,542,831
新株予約権の行使による株式の発行による収入	8,811	—
その他	△169	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,247	△2,203,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,617	3,652
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△173,930	△1,514,571
現金及び現金同等物の期首残高	3,607,810	5,170,615
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,433,880	3,656,043

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が207百万円増加し、流動負債の「その他」が15百万円及び固定負債の「その他」が193百万円増加しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. その他

仕入及び販売の状況

(1)仕入実績

(単位：千円)

品目名	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年同期比 (%)
F A機器	5,221,714	△25.3
情報・通信機器	825,564	△14.6
電子・デバイス機器	940,006	△22.5
電設資材	1,821,895	△13.4
合計	8,809,180	△21.9

- (注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
2 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2)販売実績

(単位：千円)

品目名	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年同期比 (%)
F A機器	5,851,257	△22.0
情報・通信機器	969,863	△12.7
電子・デバイス機器	1,129,050	△21.1
電設資材	2,279,076	△13.0
合計	10,229,248	△19.2

- (注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
2 上記金額には消費税等は含まれておりません。